

◆北海道グランドシニアゴルフ選手権競技 9/3(木)・4(金)

順位	氏名	SCORE	ROUNDS		TOTAL
			1R	2R	
1	八田 耕造 札幌GC	+7	76(37/39)	75(38/37)	151

以上1名はプレーオフにより決定

2	村上 享 グレート札幌CC	+7	75(39/36)	76(40/36)	151
	白木 一正 ハッピーバレーGC札幌	+7	73(34/39)	78(39/39)	151
4	高瀬 秀彦 ハッピーバレーGC札幌	+8	73(37/36)	79(40/39)	152
5	高島 敏幸 羊ヶ丘CC	+9	75(39/36)	78(41/37)	153

以上5名が日本グランドシニアゴルフ選手権競技出場資格取得者

◆北海道女子グランドシニアゴルフ選手権競技 9/10(木)・11(金)

順位	氏名	SCORE	ROUNDS		TOTAL
			1R	2R	
1	梶 真紀子 滝のCC	+8	77(41/36)	75(39/36)	152
2	加藤 リリ子 札幌国際CC	+12	77(38/39)	79(40/39)	156
3	松尾 志津子 滝のCC	+13	81(40/41)	76(39/37)	157
4	川上 雅子 真駒内CC	+14	76(36/40)	82(41/41)	158
5	中原 愛永 クラークCC	+15	79(41/38)	80(39/41)	159
	熊谷 美恵 羊ヶ丘CC	+15	78(37/41)	81(40/41)	159
7	矢嶋 祐華 札幌GC	+16	76(39/37)	84(42/42)	160
8	高瀬 君代 札幌北広島GC	+18	83(44/39)	79(38/41)	162

以上8名が日本女子グランドシニアゴルフ選手権競技出場資格取得者

詳しくは北海道ゴルフ連盟ホームページへ!

<https://www.hga.gr.jp/>

北海道ゴルフ連盟 情報シヨット!!



VOL.7

男女グランドシニアゴルフ選手権特集



女子優勝の梶真紀子選手

りました」と向上心旺盛な梶選手は、6月11、12日行われた北海道女子シニア選手権50才から出場可能を制しており、同年でのダブル優勝は初めての偉業だ。

2つの代表権を獲得して(日本女子シニア11月5、6日 福岡県小郡カントリー倶楽部の目標は「シニアは若い人も多いため楽しんでプレーして予選突破。グランドは10位以内のシード権を狙います」と抱負を胸に秘めながらも「楽しみながらプレーします」と気負いはない。自然体で全国に挑む道内初の2冠女王。梶選手に期待がふくらむ。

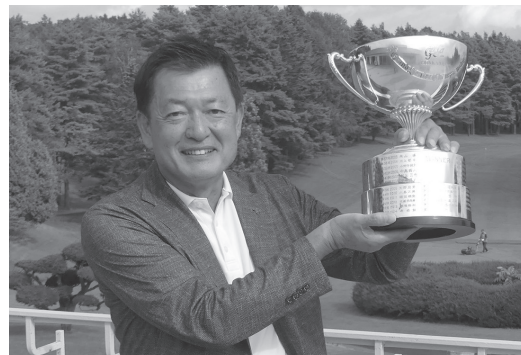
〈女子〉

4回目を迎え史上最多となる86人が参加して、年々ハイレベルな戦いとなっている。初日は矢嶋祐華、川上雅子両選手が76ストロークで首位に並び、2打差で8人がひしめくし烈な優勝争いとなった。

迎えた最終日。そんな大混戦を制したのは梶真紀子選手(61)だった。初出場の23年5位、2度目の昨年7位だった無念を3度目の正直でうれしい初優勝にたどりついた。

「目標は8人ある全国大会の代表権を取ることなので緊張することなく自分のゴルフに徹することが出来ました。まさか最高の結果になるとは……と優勝の弁。

2年前に会社を停年退職して「大好きなゴルフに時間を割ける様になりました。最近はおまり調子良くなかったんですが、定期的にプロのレッスンを受け、ボールがつかまえる様になりました」と梶選手は笑顔で話した。



男子優勝の八田耕造選手

ラン。周囲の仲間からは「全道No.1レフティ」と称されているが、ビッグタイトルに縁がなかった。過去に優勝争いをしながら「考えられないミスで負けた事が2度、3度とありました。全国大会には2度出場していますが44位が最高成績です」と、八田選手は半世紀にも及ぶ「競技熱中時代」を楽しげに振り返った。半世紀にも及ぶ競技ゴルフ歴になるが、年を重ねる度に飛距離は落ち、70才の現在ではドライバーの飛距離は230ヤード前後になったという。これからはアプローチなど小技を磨き好不調の波が少ないプレーを心掛けます」と常に前を向いている。

11月12、13日、三重県伊勢CCで開かれる全国大会の目標は「若い時の全国大会ベストの44位を越えること」と控えめだが、70才のレフティNo.1ルーキーは闘志を内に秘め、全国大会の晴れ舞台に挑む。

〈男子〉

男子は大会史上初の3人によるプレーオフとなった。1ホール目の9番(361ヤード、パー4)で村上享選手が脱番したが、八田耕造選手と白木一正選手の戦いは4ホールに及んだ。ここでレフティの八田選手が6メートルをねじ込みパーディー決着をつけ初優勝をたぐり寄せた。

グランドシニアは70歳から出場可能となるが、この世代は競技指向の選手が多く今大会は史上最高の160人が参加して、年々ハイレベルな熟年ゴルフの戦いとなっている。「年令別カテゴリーで毎年強い人が参加してくるので、早いうちに勝たなければと思い、今シニアはこの大会を最大目標にしています。ルーキーの時に勝てたので最高にうれしいです」と八田選手は目を輝かせた。

競技ゴルフにとりつかれて45年以上の大ベテラン。周囲の仲間からは「全道No.1レフティ」と称されているが、ビッグタイトルに縁がなかった。過去に優勝争いをしながら「考えられないミスで負けた事が2度、3度とありました。全国大会には2度出場していますが44位が最高成績です」と、八田選手は半世紀にも及ぶ「競技熱中時代」を楽しげに振り返った。半世紀にも及ぶ競技ゴルフ歴になるが、年を重ねる度に飛距離は落ち、70才の現在ではドライバーの飛距離は230ヤード前後になったという。これからはアプローチなど小技を磨き好不調の波が少ないプレーを心掛けます」と常に前を向いている。

熟年ゴルフファア北海道No.1を決める男女のグランドシニアゴルフ大会がこのほど札幌ゴルフ倶楽部由仁コース(パー72、男6239ヤード、女5533ヤード)で開催された。

70歳以上が参加出来る男子は、2日間合計スコア151で3人のプレーオフとなったが、八田耕造選手が4ホール目にパーディー決着をつけ初出場Vを決めた。60歳以上が参加可能な女子は、最終日ベストスコアの75をマークした梶真紀子選手が合計スコア152で2位に4打差をつける逆転優勝を飾った。